

沖縄総合事務局総務部入札監視委員会(平成30度4回)議事概要

開催日時及び場所	平成31年3月18日(月)15時00分～17時00分 沖縄総合事務局6階 特別会議室	
出席委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当山尚幸(委員長:弁護士)</li> <li>・酒井一人(琉球大学農学部教授)</li> <li>・崎山律子(フリージャーナリスト)</li> <li>・名嘉座元一(沖縄国際大学経済学部教授)</li> <li>・宮城千春(公認会計士)</li> </ul>	
審議対象期間	平成30年10月1日 ~ 平成30年12月31日	
項目	抽出案件	備考
総件数	37 件	
工事	7	
① 一般競争入札方式(政府調達)	0	
② 一般競争入札方式	7	
③ 工事希望型競争入札方式	0	
④ 指名競争入札	0	
⑤ 随意契約	0	
建設コンサルタント業務等	6	
① 一般競争入札方式	3	
② 公募型競争入札方式	0	
③ 簡易公募型競争入札方式	3	
④ 指名競争入札	0	
⑤ 公募型プロポーザル方式	0	
⑥ 簡易公募型プロポーザル方式	0	
⑦ 標準プロポーザル方式	0	
⑧ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約	0	
⑨ 随意契約	0	
役務の提供等及び物品の製造等	24	
① 一般競争入札方式	19	
② 指名競争入札	0	
③ 企画競争方式	3	
④ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約	1	
⑤ 随意契約	1	
<b>議事</b> 1. 指名停止等の運用状況について 2. 平成30年10月～12月における公共工事等の発注状況について 3. 抽出事案の審議について		
委員の意見・質問等	回答	
1. 工事 ○ 平成30年度石垣農業水利事業太陽光発電施設土木工事 〔 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 一般競争入札(総合評価落札方式)</li> <li>・ 業種区分 農業土木工事</li> <li>競争参加資格</li> <li>・ を確認した者 11者の数</li> <li>・ 入札者数 8者</li> <li>・ 契約締結日 平成30年10月19日</li> <li>・ 契約の相手方 有限会社産業交通</li> <li>・ 契約金額 21,600千円</li> </ul> 〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札を3者辞退しているがその理由は何か。</li> <li>・ 低入札ヒアリングを辞退している事業者がいる。理由はなにか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同時期の他の工事を受注したということで辞退したと聞いている。</li> <li>・ 低入札価格の場合、施工体制等の条件が厳しくなるためヒアリングを辞退したと考えられる。</li> </ul>	

委員の意見・質問等	回答
<p>2. 設計コンサルタント業務等</p> <p>○ 平成30年度宮古伊良部農業水利事業仲地副貯水池地質調査業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 簡易公募型競争入札</li> <li>・ 業種区分 建設コンサルタント</li> <li>参加表明書を提出した者の数 8者</li> <li>・ 入札者数 7者</li> <li>・ 契約締結日 平成30年10月25日</li> <li>・ 契約の相手方 基礎地盤コンサルタンツ株式会社沖縄事務所</li> <li>・ 契約金額 15,621千円</li> </ul> <p>・ 低入札が3者となっている。調査基準価格は適正なのか。</p>	<p>・ 調査基準価格は適正と考えている。受注意欲の強い業者が、事前に公表する条件等から判断して、低入札の調査基準価格ぎりぎりのところを狙ってきたのではないかと考えられる。</p>
<p>3. 役務の提供及び物品の製造等</p> <p>○ 泡盛の酒蔵における訪日外国人受入体制整備モデルケース形成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 一般競争入札(総合評価方式)</li> <li>・ 業種区分 役務の提供</li> <li>競争参加資格を確認した者の数 5者</li> <li>・ 入札者数 5者</li> <li>・ 契約締結日 平成30年12月21日</li> <li>・ 契約の相手方 株式会社サーベイリサーチセンター</li> <li>・ 契約金額 4,998千円</li> </ul> <p>・ 職員が審査しているが、調査テーマに沿った外部人材を入れる必要はないのか。</p> <p>・ 審査員の中に1人だけ点数が厳しめとなっているが、事前に審査方針等の意思統一は行わないのか。</p>	<p>・ 提案書の中にそのコンサルが有する知見等も記載されているため、そういったところから審査が可能なので問題ないかと考えている。</p> <p>・ 個々の視点があり、その視点の中で審査を行っている。恣意的に特定の企業を高く評価しているわけではないため特に問題ないと考えている。</p>
<p>4. 役務の提供及び物品の製造等</p> <p>○ 平成30年度地域中核企業創出・支援事業</p> <p>①IT×観光による「恩納村Society5.0 for SDGs」プロジェクト</p> <p>②SDGsを踏まえた那覇空港第二滑走路開設に伴う観光・新サービス構想支援事業</p> <p>③アレクサンダー惣菜加工食品セントラルキッチン事業立ち上げ支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 企画競争方式</li> <li>・ 業種区分 役務の提供</li> <li>・ 契約締結日 平成30年10月31日</li> <li>・ 契約の相手方 ①株式会社OTSサービス経営研究所 ②株式会社電通沖縄 ③株式会社OTSサービス経営研究所</li> <li>・ 契約金額 ①6,920千円 ②7,000千円 ③6,937千円</li> </ul> <p>・ 同一企業の案件が複数採択されているが、実施するための人材の確保状況は確認しているのか。また、なぜ複数提案ができることになっているのか。</p>	<p>・ 支援体制の中に実名を入れてもらっており、重複していないことは確認している。本事業は全国的な事業であり、地域によっては実施する企業がない、そう多くはないということもあり、1つの企業が複数の提案ができることになっている。</p>